

SCIP@台湾 現地調査報告会

調査活動の趣旨と概要

3月19日～28日の期間、8名の学生が経済交流をテーマとして台湾（高雄）で研修しました。参加学生はそれぞれテーマを設定し、現地で交流した台湾人大学生対象に聞き取り調査を行いました。今回そこで得た調査結果をポスターで発表します。岩手県や自分の出身地のリソースの認知度や好感度などについて、今後取り組むべき様々な課題を発見しました。発表者に色々ご質問ください。

調査タイトル	発表者
台湾から見た角館の魅力	倉泉由美（人社）
亀の子せんべいの台湾需要について	月館花菜（人社）
台湾から見る花巻温泉	辻村祐衣（人社）
弘前の食と魅力についての現地調査	角田七瀬（人社）
岩手町産ブルーベリーの台湾への販路拡大の可能性	村木穂乃香（人社）
台湾におけるかもめの玉子の需要について	伊藤真名（人社）
台湾における若者の日本酒に対する反応	齊藤優弥（農学）
青森ねぶたの現地調査から見る観光客誘致の可能性	飛内若菜（人社）

日時：4月18日（木）12：15～12：55

場所：岩手大学学生センターB棟1階 多目的室

- * 途中入退場自由
- * ランチを事前に購入し会場でつまみながらでもOK。
- * 岩大生は参加によってグローバルマイレージ加算がされます。



この件についての問い合わせ先
グローバル教育センター
担当：尾中夏美(onaka@iwate-u.ac.jp)